

1. 実施内容

4月25日	空芯菜種まき
5月23日	チーム竹姫キックオフ
6月01日	法定外占有許可書申請
6月01日	水耕栽培用苗を入れる
6月21日	(株)ハマックスと打ち合わせ
7月4日	水政課 寺師課長と銭谷川の件打ち合わせ
7月13日	ヌートリア対策テスト
8月15日	太陽パネルパネル撤去作業
8月20日	川の雑草撤去
10月2日	実験場の移設完了 銭谷川土嚢積み
10月18日	太陽光パネル取り付け
10月26日	配線工事
10月30日	配線工事チェック
11月3日	炭の調達
11月9日	炭交換準備
11月15日	植菌
11月19日	炭交換
11月25日	銭谷川浄化装置取り付け
12月5日	電気回路修理工事
31,1月	ポンプトラブル調査
2月4日	川の工事伝達ありポンプ停止
2月5日	銭谷川新年度計画打ち合わせ
2月15日	川の工事完了
2月21日	ポンプ再稼働

2. 事業の報告

計画した事業

- (A) 竹炭による水質浄化
- (B) 住民アンケートの実施
- (C) 実験場の移設
- (D) 銭屋川ビオトープ作り
- (E) 植物を使った水質浄化

計画時の期待する効果

- 1、竹炭の設置面積の拡大
- 2、住民との意思疎通
- 3、発電効率の向上
- 4、銭屋川の環境改善

結果

(A) どんな内容だったか？集客数は？計画時の期待する効果と照らしてどうだったか？

実験場の移設後の水面に、水平方向の炭の設置をする。

炭による汚れの吸着、納豆菌による汚れ物質の分解、生物膜による生態系の創出効果で自然回帰が進む

(B) 3年間の追跡調査（地域住民、谷川中学学生、市役所職員）

川の認知度は52%まで上昇するも、50%の人川の名前知らない

環境への取り組みは、市役所職員、住民で見解の相違あり、地元住民には興味、関心度で向上（地元区長には改善効果に高い評価をいただく）

(C) 毎年10月以降には、建物の陰で発電効率が落ちる。流側へ8m移設する。

（株）ハマックス様と実験場の無償譲渡との交渉成立、双方で覚書を交わす。

(D) 新堀川の水質改善は、環境省の水質基準で、水浴場基準がクリアーできている。

さらに改善するには、設備投資などの大規模の投資も必要になる。この状態を維持しながら、得た知識を他地区の環境改善に生かしていくことが大切と考えて銭屋川の環境改善に取り組む。今年度プロジェクトチームの取り組みとビオトープつくりを完成させた。

